

引っ越しのためのスケジュール

3週間前 (21~15日前)

- 運搬方法の検討 ○引っ越し日時の決定 ○運送会社の予約
- 家主への連絡 ○電話の移動申し込み (電話局)
- 移転先の電気、ガス会社への器具調整の確認
- 段ボールや荷造り用品の準備

2週間前 (14~8日前)

- 転居先の見取図を作成
- 転出局、転校届け、国民健康保険、国民年金、印鑑登録、母子健康手帳などの移動手続き
- 手伝いの人の手配 ○転居通知の印刷発注
- 不用品の処分 ○当面使わないものの荷造り (本や衣類など)

1週間前 (7~4日前)

- 最寄りの電気、ガス、水道会社に使用停止の電話連絡
- 郵便物の転送連絡届け ○公共料金の自動振替解約
- 銀行、保険会社などの住所変更届
- 新聞、牛乳、クリーニングなどへの引っ越し連絡と精算の依頼
- 乗車券など家族の移動手段の手配
- 粗大ごみの連絡、清掃工場への持ち込み ○荷造りをさらに進める

3~2日前

- 挨拶用品の購入 ○学校への挨拶 ○身の回り品の荷造りを始める

前日

- 当日のスケジュールと仕事分担の確認
- 手伝いの人確認と引っ越し会社への確認 ○荷物の明細づくり
- 当日の朝食、昼食、飲み物の準備 ○近所への挨拶
- 手持ち品のまとめ

当日

- 家賃、ガス、水道、電気、電話代の精算 ○家のなかの掃除
- 当日使ったものの荷造り ○掃除とごみの始末

ここがポイント!

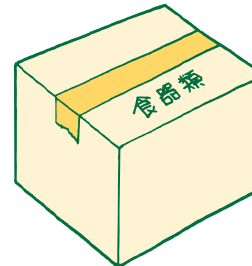
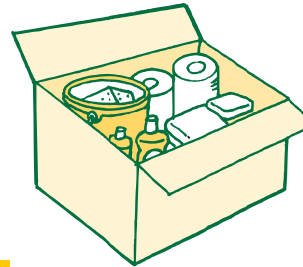
●当日使う日用品はひとつの段ボールにまとめておきましょう。

引っ越しの前日と当日に使わなければならない食器や調理用具、寝具、トイレトーパー、ティシューペーパー、下着などは、ひとつの段ボールにまとめ、よく分かるように目印をつけておきましょう。

●荷物には品名を書きこみましょう。

段ボールにいったん入れてしまうと何がどこに入っているのか分からなくなりますので、できるだけ具体的に、大きく油性ペンで品名と運びこむ部屋の名を書きこんでおきましょう。油性ペンは種類ごとに色をかえておくのもいいでしょう。さらにそれをチェックリストとしてひとつにまとめておくと、荷物の受け渡し時のチェックにもなりますし、荷物の整理にも役立ちます。

また搬入するときにも別の場所に置いてもらうように頼んでおくと、いざというときにあわてません。



サービスのご案内



配達へかんばん 切り売り商品 修理



返品・交換 表札、額の受注 スパークプラグ

●クレジットもご利用になれます。



ホームセンターセキチュー

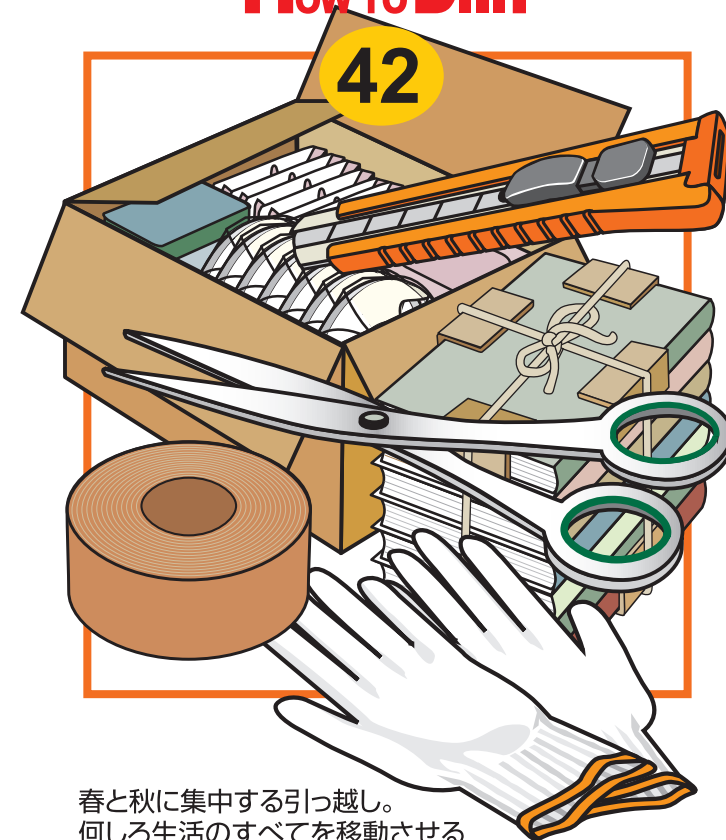
制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111 (大代表)

引っ越し便利帳

自分でやってみよう!

セキチュー
HOW TO D.I.Y

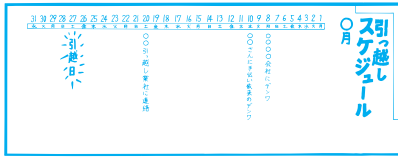


春と秋に集中する引っ越し。何しろ生活のすべてを移動させるわけですから、いろいろ面倒なことが次から次へとできます。しかし決まってから何日かはあると思いますので、決まったその日からスケジュールを立てて、荷造りや必要いろいろの手続きを早めにすまして、能率よく引っ越ししましょう。それもあなたの腕次第です。

決まったらまず最初にやること。

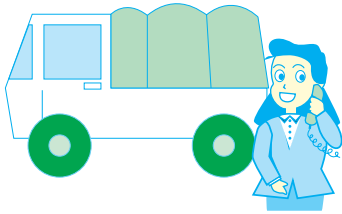
スケジュール表を作りましょう。

引っ越しには山のようにいろいろな手続きや荷造りがありますので、まずスケジュール表を作り、予定の日時を書き入れ、終わったものからどんどん消していきます。また途中で気がついても書きこめるように余白を多くしておきます。それをチェックリストとして活用してください。



運搬方法を早く決定しましょう。

自分たちで運ぶのか、お手伝いをだれに頼むのか、また引っ越し業者をどこに頼むのか、早く決定してできるだけ早めに予約しておかないと、シーズン中はその日にできないことになってしまうこともあります。業者は3社ぐらいから見積りを取ったほうがいいでしょう。



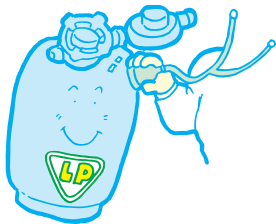
手続き、届け出は忙しくならぬうちに。

優先順位をつけて、早めに済ましておきましょう。その際には必要なもの(書類や印鑑証明など)を忘れずに持っていくために、チェックリストを作っておきましょう。



電気やガス器具の規格を確認。

電気やガス器具の規格を確認して、使えるかどうか分らなければ、引っ越し先の電力会社やガス会社に聞いておきましょう。電気の場合は東日本は50ヘルツ、西日本は60ヘルツで、ガスは都市ガスかプロパンガスか、さらに都市ガスでも都市によって熱量の差が何種類ありますので、必ず確認しておき、使えない場合はガス会社に連絡して、内部の部品を交換しておくようにするか、引っ越し当日にガス会社を呼んでおいてその場で部品を交換してもらうかしないかたいへんです。



荷造り上手になりましょう。

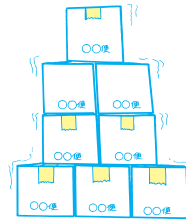
いらぬものは捨てること。

数年間使わなかったものや、取っておけば何かに使えると思って保管していたものはこの際いきて捨ててしまいましょう。多分そういうものはこれからも使わないと思います。粗大ゴミに出すもの、リサイクル業者に売れるもの、学校のバザーや施設に寄付するものなどに分けてそれぞれに手配します。

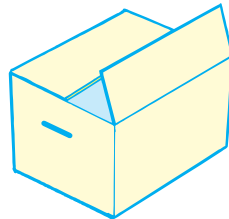


大物は業者で、小物は自分で。

最近では業者がすべて荷造りしてくれますが、その分高くなりますので、衣類や日用品、食器、食品などは自分たちで荷造りした方が、取り出そうと思ったときに、分かりやすく、らくです。逆に大きい家電品や家具、骨董品、ピアノなどは業者にまかせた方が安心です。



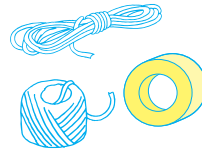
揃えておきたい荷造り用品。



●段ボール
セキチューで販売していますのでご利用ください。近所のスーパー等に頼めばもらえることもあります。大きさが形がまちまちになります。また、持ち運びしやすいように真ん中にカッターで切り込みを入れておくと便利です。

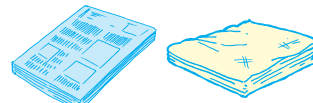
●梱包用品

クラフトテープ・ガムテープ・ビニール紐・ロープなどは必需品です。クイパックという便利な荷締め器もあります。他にビニール袋、布団袋など。



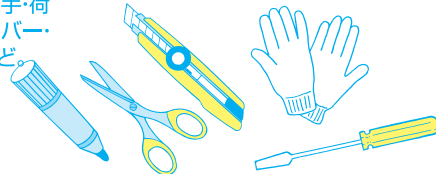
●詰め物用品

古新聞・ボロ布・古いシーツやカーテン、毛布、布団など。



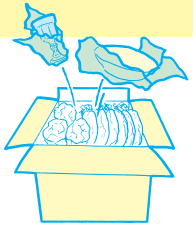
●作業用品

カッター・はさみ・軍手・荷札・油性ペン・ドライバー・かなづち・ペンチなど。



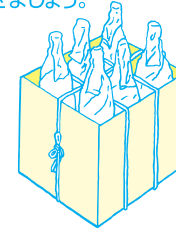
安心の荷造り。

茶碗やグラスなど……壊れやすい食器は一個ずついねいに新聞紙に包み、なるべくすき間があかないように段ボールに詰めます。すき間ができたなら新聞紙を丸めて入れておきましょう。



●ビン類

使いかけの調味料などはふたをしっかりと締めて新聞紙で包みます。食器と同じ要領で詰めた段ボール箱は重いので、持ち運びしやすいようにロープをかけておきましょう。



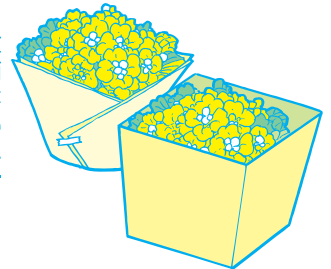
●本

小さな段ボールに入れるか、十字に10冊ぐらいづつロープでくくります。十字字に結んだ角には段ボールの切れ端や厚紙をはさんでおくと本が傷みません。



●植木鉢

鉢をひとつひとつ新聞紙を2枚重ねたもので包み、段ボール箱か木箱に入れます。すき間にはやはり新聞紙を詰めて動かないようにしておきます。ビン類と同じようにふたをしないでロープをかけておきましょう。



前日と当日

精算を忘れずに。

ガスや水道、電気料金はほとんど銀行引き落としになっていますが、クリーニング代や新聞、牛乳等の料金の精算は前日までにすませておくか、当日に呼んでおいて精算するようにしましょう。また前記の公共料金は前もって使用を停止する日にちを各会社に連絡しておいてください。

挨拶は前日までに。

ご近所への引っ越しの挨拶は前日までにすませておきましょう。また学校の先生やお世話になった方への挨拶はもっと前からしておいた方がいいでしょう。